

石川総合理解講座

～石川県民大学校放送利用講座～

いしかわ



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は……
●石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎(076)225-1836
●テレビ金沢 報道制作局制作部
☎(076)240-9036

～手話通訳つき放送～ **放送予定表** 平成24年4月～10月

テレビ金沢 日曜 午前7:30～8:00

提供／石川県教育委員会 企画・制作／テレビ金沢

ふるさとに元気！シリーズ・石川のモノづくり

私たちのふるさと石川県には、全国シェア日本一や独自の技術で一目置かれている企業が数多くあります。その「モノづくりの精神」は担い手の誇りでもあり、私たち石川県民にとっても大切な財産です。

第1回 4月15日(日)放送 『まわるまわる 寿司コンベア』

●コンベアでぐるぐると回ってくる「回転寿司」はその手軽さから人気を集め、外食産業をリードしてきました。石野製作所(金沢市)が手掛ける寿司コンベアは「いしかわモノづくり産業遺産」にも登録され、近年は新幹線をモチーフにした高速のコンベアを開発するなど、常にチャレンジし続けています。

第2回 5月6日(日)放送 『人に優しく 食品から生まれた化粧品』

●「食べられるほど安全な化粧品作り」を目指してきたルバンシュ(能美市)は、食用成分だけの環境に優しい基礎化粧品を手掛けてきました。加賀野菜・金時草や地元産のゆずを使った入浴剤、東日本大震災を受けて水のいらぬドライシャンプーなど、人にやさしいモノづくりが光ります。

第3回 5月27日(日)放送 『和菓子どころを支える技』

●「明治10年から愛され続ける菓子種専門店、加賀種(金沢市)。職人が手早く焼きあげた最中は、皮の香ばしさを楽しむために餡と最中皮を別添えにした逸品です。また皮の形は木型から作成し、干支や獅子頭、リアルな卵型など、これまでに1,000種類以上を世に送り出してきました。

第4回 6月17日(日)放送 『城下町のかがやき 箔のチカラ』

●化粧品・食用金箔・建築装飾など、伝統的工芸品である金箔を生活に密着した様々な事業として展開している箔一(金沢市)は、金箔工程の副産物である「箔打紙」が顔のあぶらとりに適していることに着目し特許を取得、日本で初めて商品化を実現させました。

第5回 7月8日(日)放送 『本物を超えた!風土が育むヒット商品』

●明治元年に練物製造会社として誕生したスギヨ(七尾市)は、業界をリードする技術力で「カニ風味の蒲鉾」など数々のヒット商品を生み出しました。そこには能登半島の豊かな自然と食文化が大きく関わっています。近年は「食育」活動にも積極的に取り組むなど、地域に根付いたものづくりをしています。

第6回 7月29日(日)放送 『近未来形ドームの住まい』

●木材、鉄、コンクリートに次ぐ「第4の素材」、発泡ポリスチレンを構造材としたドーム型建造物を日本で初めて開発し、国から認定を受けたジャパンドームハウス(加賀市)。積雪・強風などに強く、柱がないため耐震性にも優れていることから近未来の住まいとして注目されています。

第7回 8月19日(日)放送 『夜空のキャンパスに描く』

●夏の夜空を彩る光の芸術。北陸火工(かほく市)は日本花火の伝統的な手法を守りながら、国内屈指の大規模製造施設で質の高い花火を作り続けています。打ち上げではコンピューターを駆使してプログラミングされた最先端の花火ショーが県内各地を魅了します。

第8回 9月16日(日)放送 『思い出を運ぶ こだわりのバス』

●日本に誕生して100年余り経った今でも、通勤・通学や観光などの貴重な足となっているバス。ジェイ・バス(小松市)は1台1台設計を行い、小型から大型まであらゆるニーズに対応したバスを手掛けています。ボディを大きなプールに入れる電着塗装など、きめ細かいモノづくりが光ります。

第9回 10月7日(日)放送 『きょうも走る! 働く車』

●キャンピングカーの製造から始まり、現在はクレープやたこ焼きといった「移動販売車」、保険代理店と共同開発した「移動事務室車」、視覚障害者向けの「パソコンバス」など、ゼック(野々市市)は特徴のある車両づくりで知られ、地域経済の活性化も担っています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については 石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。

〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585